

平成 24 年 6 月 26 日

福島県病院薬剤師会
会長 井上 正広 様

日本糖尿病療養指導士認定機構
理事長 南條 輝志男

日本糖尿病療養指導士の認定更新に関するお願い (研修会等開催時の「参加証等」の発行について)

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当機構に格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当機構では「日本糖尿病療養指導士 (CDEJ)」の認定をおこなっておりますが、認定は 5 年ごとの更新とし、更新の要件のひとつとして、学会・研修会等で一定の単位を取得することを定めております。

当機構では、各職種がそれぞれの専門性を発揮しながら、チームとして糖尿病患者の療養指導に従事することが大切であると考えております。このため、研修単位は<第 1 群>自己の医療職研修単位 (職種別)、<第 2 群>糖尿病療養指導研修単位 (職種共通) の 2 本立てとし、<第 1 群><第 2 群>それぞれ 20 単位の取得を更新の要件としております。

なお、<第 1 群>の対象となる学会・研修会等につきましては、基礎となる医療職の各学会・団体からの提案を受けて定めたものです。各職種の専門性を高めるとともに、研修機会をできるだけ多くする狙いで、職種毎に、様々な学会・研修会を単位取得対象として定めております。

さて、同封いたしました資料 1「研修単位一覧表」に記載しておりますとおり、貴会主催・共催の研修会で単位取得が可能となっております。

単位の取得状況については、各主催団体が発行する「参加証等」によって確認することにしております。ご多忙のところ、勝手なお願いで誠に恐縮ではございますが、貴会で主催・共催される研修会等におきましては、「参加証等」の発行をぜひお願いいたします。何とぞ事情ご賢察のうえ、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。もし、「参加証等」の発行が難しい場合は、「学会・研修会等出席証明書」への押印にぜひご協力をお願い申し上げます。(従来ご協力いただいております皆様には、この場をお借りして感謝申し上げますとともに、度々のお願いとなりますことをご容赦いただければ幸甚に存じます。)

「参加証等」の様式、その他研修単位の認定方法等につきましては、資料 2「日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) 認定更新のための研修単位について」をご高覧いただければ幸いに存じます。何かご不明の点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

糖尿病に関する知識・技能・経験を備えた CDEJ が各地に増えることにより、わが国の糖尿病医療のレベルは飛躍的に向上すると確信しております。ぜひとも本制度の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

末筆ながら、貴会のますますのご発展を祈念申し上げます。

敬具